

令和4年9月29日

新潟県薬剤師会 会員 各位  
新潟県病院薬剤師会 会員 各位

新潟県薬剤師会  
会長 荻野 構一  
新潟県病院薬剤師会  
会長 外山 聡

### 「薬薬連携の推進のための合同研修会」の開催について（ご案内）

平素より、格別のご指導・ご配意を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新潟県薬剤師会及び新潟県病院薬剤師会では、病院薬剤師と薬局薬剤師との連携を推進するため、標記研修会を下記のとおり開催することといたしました。

本研修は、大阪府済生会中津病院の萱野 勇一郎先生をお迎えし、2040年に向けて必要な連携とはなにか、医療DXとはなにか、未来志向のご講演をいただくこととしております。また、県内における連携状況を共有し、薬薬連携をどのように進めていくか、ともに考えていきたいと思っております。是非ともご参加ください。

#### 記

日時： 令和4年11月23日（水・祝）13:00～15:00

会場： 新潟県薬剤師会館 会議室

（新潟市中央区女池1丁目3番16号、電話 025-281-7735）

開催方法： ハイブリッド型研修（集合研修及びzoomウェビナーによるweb研修）

受講料： 無料

定員： 集合研修 20名、web研修 490名

申込み： google フォーム (<https://forms.gle/v3EEHSRLZaTS8g957>) から

**令和4年11月9日（水）**までにお申し込みください。



その他： ・プログラム（予定）は別紙をご参照ください。

・昨年度開催した「『薬薬連携セミナー』入門編～連携により働き方が変わる！～」の収録動画 (<https://youtu.be/W30Ey1RN17Q>) を11月9日までの期間限定で見逃し配信いたします。ご受講いただかなかった方は、ご視聴の上、ご参加ください。

・研修単位は、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度及び日病薬病院薬学認定薬剤師制度（カリキュラム区分Ⅲ-2「連携」）のいずれか1単位を付与いたします。

・日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師制度の単位付与をご希望の方は、予めPECSにご登録ください。集合研修の場合はQRコードをご持参ください。

・日病薬病院薬学認定薬剤師制度の研修シールを交付した方の氏名及び会員番号を各認証プロバイダーへ報告いたしますのでご了承ください。

・プロフェッショナルスタンダード（PS）は主に「2. 医薬品の適正使用（安全性、経済性）」に該当します。JPALSコードは「15-2022-0035-101」です。

・web研修の方は、お申込みの際に受講者毎に別のメールアドレスをご用意ください。

問合せ： 公益社団法人新潟県薬剤師会 事務局担当 長谷川、齊藤、林、大平

電話 025-281-7730、FAX 025-281-7735、メール [bungyou@niiyaku.or.jp](mailto:bungyou@niiyaku.or.jp)

# 薬薬連携の推進のための合同研修会

新潟県薬剤師会  
新潟県病院薬剤師会

日時 令和4年11月23日（水・祝）13:00～15:00

場所 新潟県薬剤師会館 会議室

## プログラム

司会：新潟県病院薬剤師会 担当者

- 1 開会挨拶 新潟県薬剤師会 会長 荻野 構一
- 2 特別講演

### 2040年に向けての地域薬物治療連携

～薬剤師DXを病院・薬局目線で考え、AIを超えてゆく～

大阪府済生会中津病院 薬剤部長 萱野 勇一郎 先生

- 3 新潟県における事例発表

- (1) 病院薬剤師から見た薬局薬剤師との連携

済生会新潟病院 薬剤部 上村 賢介 様

- (2) 薬局薬剤師から見た病院薬剤師との連携

ココカラファイン薬局寺地店 山口 元気 様

- (3) ディスカッション

- 4 閉会挨拶 新潟県病院薬剤師会 会長 外山 聡